

## 物部川清流保全推進協議会合同部会要旨

日 時：平成22年3月19日 10:00～12:00  
場 所：高知県立青少年センター本館青少年ホール  
〒781-5232 高知県香南市野市町西野 303-1  
TEL: 0887-56-0621  
出席者：別紙のとおり

内 容：物部川に係る水収支・流量配分の経時的な変化について  
(国土交通省高知河川国道事務所、高知県土木部河川課)  
物部川清流保全推進協議会部会の役割分担について

- 1 物部川における水収支・流量配分の経時的な変化について資料1、資料2を元に国土交通省高知河川国道事務所、高知県土木部河川課より説明を受けた。
- 2 前回までのまとめ(事務局より)
- 3 意見交換
- 4 物部川清流保全推進協議会部会において、来年度どういった取り組みを重点的に進めていくべきか、部会の運営、テーマ。

- 1 物部川における水収支・流量配分の経時的な変化について(大年会長まとめ)  
降らない年の降らなさ度合いが顕著になってきている。  
雨が多く降った年は大差ないか降る時は大雨で、降る年と降らない年の差が顕著になっている。【資料2】  
ダムに入ってくる水の量は年により変動はあるが、過去に比べてやや少なめになっている。それによって放流量もやや少なめになっている。【資料2 3. 流況履歴】  
ダム下流では水利権に従った取水【資料2 4. 利水ルール】がなされ、その残りが深淵の流量として表されている。  
深淵地点での流量は渇水流量・低水流量で比較的安定しており、ダムによる水量調整がなされている事を示している。【資料1 P2 流況(深淵観測所)】  
しかしながら、深淵地点での水位をみると、大きく低下している【資料1 P4 水位の変動状況(深淵観測所)】。流量を固定してみると低水位流量で過去は1m以上あったものが、現在では20cm程度になっている。流れる水の量は一緒なのに、水が減って見えるのは、河床が下がっているので水面が下がって見える【資料1 P4 深淵観測所(3.6km地点)の河道断面の経年変化】。という結果になっている。  
※ 水量は変化ないが、河床が低下したため、見た目の水位が低下(水が減っているように見える)という結果がデータより読みとれる。
- 2 前回までの部会のまとめ(事務局説明)【資料3】  
総会・第1回、2回の部会で承認された運営体制の確認  
取り組み例示の中で既に取り組みされているもの↑部分の確認  
個々に取り組んでいくだけでは効率が悪いので、体系だった取り組みが必要(これに物部川の部会を活用する)との認識から、前回部会時に配布した【資料5 役割分担記入シート】の取り組み欄の団体として参加可能な欄に○をお願いした。

取り組みには

- ・ 予算の裏付けがあれば進むもの  
永瀬ダムの濁水対策（ダムの浚渫や高圧バルブ運用、選択取水運用）  
森林組合や行政が取り組む間伐等（不在村地主対策が課題）
- ・ 熱意を持って汗をかければ出来るもの  
住民参加型の保全活動等
- ・ いろんな組織が連携してやれば、一層効果があがるもの  
山・川・海で独自に取り組んでいる組織・団体があれば情報をいただき、この協議会の中で連携できないか話合っていきたい。
- ・ すぐに結果がでるもの
- ・ 時間をかければできるもの  
いろんな取り組みはあるが、本年度は共通認識をし、次にどういう行動を起こすかなので、出来ることから来年取り組むべきものを今回の部会で決めたいので来年は実際に取り組んでいきたい。  
事務局としては、本年度は参加者が固定化しているというご意見をお聞きしたので、流域の取り組み情報のネット等を通じた幅広い層への提供を行った。また、農業濁水の現状調査、水質・水生生物のモニタリング調査等に取り組んできたので、来年度も取り組んでいきたいと考えている。  
これらを踏まえて、
  - 来年度、当協議会でどういった取組を重点的に進めていくのか。
  - 部会の運営方法
  - テーマを決めていただきたい。アンケート結果【資料4】等も参考に協議をお願いしたい。

### 3 意見交換

【資料3】【資料4】【資料5】を前提に、参加いただいた各組織・団体の方から、来年度こういった取り組みを具体的に進める予定である。こういった協力が得られれば、こういう取り組みが可能になる。というような意見交換を行った。

### 4 物部川清流保全推進協議会部会において、来年度どういった取り組みを重点的に進めていくべきか、部会の運営、テーマ。

- ①ゴミ対策を進める・・・ゴミを拾ってお疲れさまで終わるのではなく、それをきっかけとして、住民が物部川の現状を知り、清流保全の取組へとつなげ、広げていけるような、やり方について協議する。
- ②山の保水力の回復を図る・・・行政がやっている事、ボランティアがやっている事（間伐・産業振興を含めた山の保全）をお互い情報共有できるようにする。
- ③物部川を楽しむ学習する・・・学校教育など、子ども達への環境学習を進める。
- ④濁水対策を進める・・・代掻き濁水について現状を把握したうえで、関係機関で対応を協議する。

来年度は以上、4つの取り組みについて重点的に取り組む事を確認し、閉会した。